

# 下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和5年12月22日

## 賀茂地域局

次回の定例記者懇談会  
令和6年1月25日（木）  
午前9時30分から  
会場：賀茂キャンパス

# 目 次

## ◎重要施策発表

伊豆の豊かな海を守る海藻移植研究・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(水産・海洋技術研究所伊豆分場)	

## ◎令和6年1月の行事予定

行事予定表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
-------------------------------	----

賀茂地域における「まちじゅうアート」の推進・・・・・・・・	19
(賀茂地域局地域課)	

賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第34回講座・・	20
(賀茂地域局地域課)	

地震対策オペレーション2024(大規模図上訓練)の実施について・・	22
(賀茂地域局危機管理課)	

防災講座の開催・・・・・・・・・・・・・・・・	23
(賀茂地域局危機管理課)	

令和5年度納税功労者の表彰について・・・・・・・・	24
(下田財務事務所)	

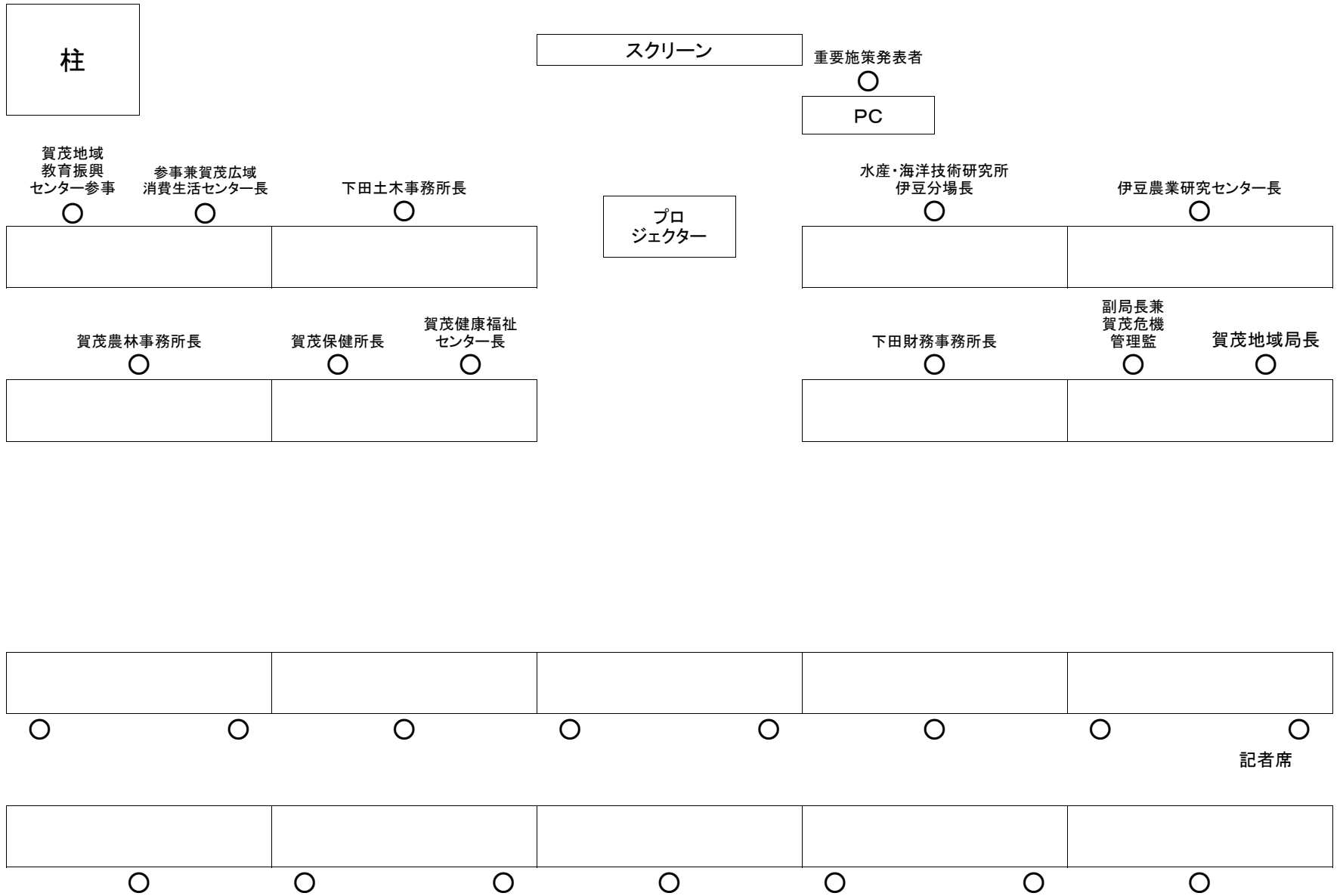
消費者教育出前講座の実施(下田中学校)・・・・・・・・	25
(賀茂広域消費生活センター)	

定例記者懇談会構成員名簿

	役職名	氏名
1	賀茂地域局長	しらとり みちひろ 白鳥 満啓
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	ぬまの かつし 沼野 克史
3	伊豆観光局長	いちかわ けん 市川 顯
4	下田財務事務所長	かみや あきよし 神谷 明良
5	賀茂健康福祉センター所長	すずき ふじお 鈴木 藤生
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
7	賀茂農林事務所長	もろた りょう 諸田 僚
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	たねいし もとひろ 種石 始弘
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	よしかわ やすお 吉川 康夫
10	下田土木事務所長	とつか ひろふみ 戸塚 博文
11	賀茂広域消費生活センター所長	くらしま ひろあき 倉島 浩彰
12	賀茂地域教育振興センター参事	つちや かずみ 土屋 一巳
13	賀茂地域局次長兼地域課長	しらつち たつお 白土 達夫
14	賀茂地域局参事兼危機管理課長	すずき かなめ 鈴木 要

# 賀茂地域定例記者懇談会 座席表

(下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)



出入口

記者席

賀茂地域定例記者懇談会  
令和5年12月22日

# 伊豆の豊かな海を守る海藻移植研究

水産・海洋技術研究所  
伊豆分場

富国有徳の理想郷－しずおか  
ふじのくに



水産・海洋技術研究所伊豆分場の吉川です。  
ただ今から、県単独研究の「伊豆の豊かな海を守る海藻移植研究」についてお話させていただきます。今回の内容は11月22日に水産・海洋技術研究所で行われた「水産・海洋研究発表会」で発表したものを一部改変したものです。

## 磯焼け：大型海藻が消失する現象



カジメ *Ecklonia cava*

- ・伊豆の大型海藻の代表種
- ・多年生で海藻群落を形成
- ・アワビの餌として重要



2018年11月下田市

海中林：豊かな海藻群落



2021年11月下田市

カジメが  
茎部だけに…

磯焼けが進行する海

磯焼けは海藻群落が消滅する現象で、現在、全国的に問題になっています。伊豆地域ではここ2、3年での磯焼けの進行が顕著であり、海藻群落が著しく衰退しています。右上の写真は2018年11月の下田の海の様子であり、カジメが繁茂しており豊かな海藻群落の海が形成されています。ところが、2021年11月には右下の写真のようにカジメの葉の部分が消失し、現在では、春から初夏にかけてカジメの幼体が見られるものの、大型のカジメによって構成された海藻群落はほとんど見られなくなっています。

## 伊豆各地の海藻着生状況の確認（2023年）

伊東市（5月）



下田市田牛（6月）



南伊豆町石廊崎（8月）



伊東市宇佐美（10月）



他の地域の現在の磯焼けの状況も伊東市近辺と下田市田牛、南伊豆町石廊崎をピックアップして説明します。まず、伊東市近辺ですが、伊東や宇佐美では石灰藻が著しく広がっており、カジメは全く見られません。また、下田市の田牛では、カジメが生育していた場所がテングサの生育場所になりつつあります。さらに南伊豆地域の石廊崎では雑海藻であるモク類が優先し、カジメが見られない状況でした。

## 水産業への影響

### カジメ磯焼け時の痩せアワビ

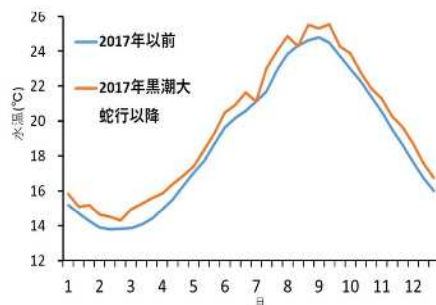
2020年8月17日 下田市須崎



伊豆を代表する水産物「アワビ」は、カジメなどの海藻を主食にして育ちます。磯焼けで海藻群落が衰退すると、アワビの餌が不足し資源が減少し水産業に大きなダメージを与えます。生き残っているアワビも「痩せアワビ」となってしまう商品価値が下がってしまいます。また、藻場で暮らす様々な生き物が見られなくなり、藻場の生態系が崩れてしまい、生物的に豊かな海の消失につながってしまいます。



## 2017年8月に発生した黒潮大蛇行は現在まで継続 観測史上最長（6年）



### 黒潮の特質

- ・ 暖かい水（高水温）
- ・ 速い流れ
- ・ 栄養分が少ない

伊豆地域で海水温が上昇

藻食性魚類に食害



海藻の生育阻害、枯死

伊豆地域ではここ数年で磯焼けが顕著に進行しているのは海水温の上昇と藻食性魚類による食害の影響が大きいとされています。2017年8月に黒潮大蛇行が発生しました。大蛇行になると伊豆地域の海水温が上昇すると言われています。真ん中のグラフは大蛇行前と後の下田の月別の海水温を比較した図であり、蛇行後の方が高くなっていることが確認できます。高水温はカジメなど海藻の生育に悪影響を与えるだけでなく、ブダイ等の藻食性魚類の活性を高めることによって食害が増加することが確認されています。また、他にも蛇行時に伊豆地域に流入する黒潮由来の海水の栄養塩濃度が乏しいことも磯焼けと関連性している可能性があります。

## これまで行われてきた磯焼け対策



スポアバッグ  
による播種



母藻移殖



藻食性魚類の駆除

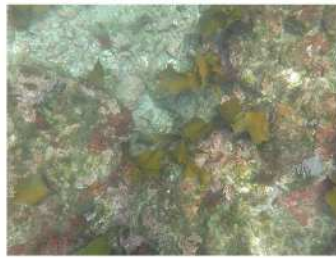
未だ完全な磯焼けの対策は確立されていない

現在、漁業者が主体となって様々な磯焼け対策活動が行われています。左の写真は、スポアバッグと呼ばれる方法で、親海藻を網袋に入れて海中に吊し次世代の胞子を放出させるものです。中央の写真は海底に移殖海藻を設置する母藻移殖とよばれるものです。また、右の写真は藻食性魚類であるブダイを駆除している様子であり、下田市の白浜で行われた時の写真です。このように磯焼け対策が行われていますが、高水温、食害圧の強い海の中で一度消失した海藻群落を復活させるのは容易ではなく、完全な対策は確立されていないのが現状です。

## 白浜漁港周辺で 潜水調査を実施



A地点(漁港外地先)



2023年7月観察



B地点(白浜漁港内)



漁港外に比べ、漁港内の方が大きなカジメがはえている  
**漁港内の方が生育が維持されやすいのか？**

磯焼け状況の把握と海藻の生育適地の探索のため、下田市白浜周辺で海藻の生育状況調査を定期的に行っています。その中で、漁港内の岸壁に着生するカジメが同時期の漁港外の海に生育するカジメよりも大きさが比較的大きいことに気づきました。A地点（漁港の外）に生育するカジメは、葉が小さく、藻食性魚類にかじられた痕が多く見つかった一方で、B地点（漁港内岸壁）のカジメは比較的大きく、また漁港の中で高密度に生育している様子を確認しました。

## 稲取漁港周辺での潜水調査を実施

### アントクメ *Eckloniopsis radicata*

#### 稲取漁港



稲取漁港岸壁に生えていた「アントクメ」

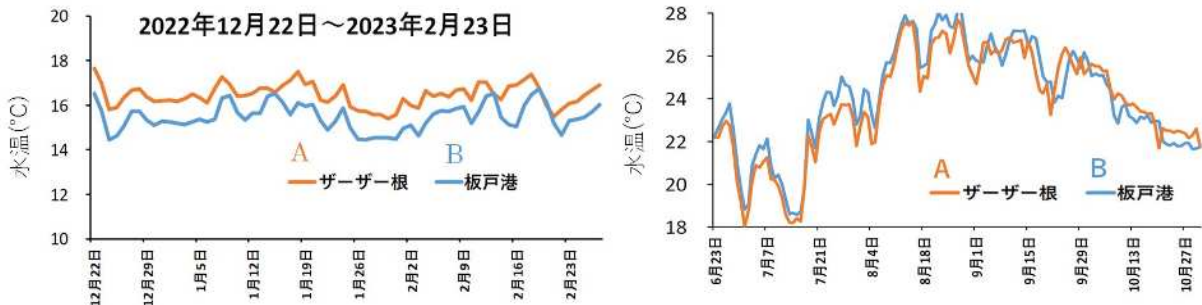


- ・ワカメと同じコンブ目の海藻
- ・コンブ目の中で最も南方性
- ・一年生で春季に急成長
- ・西伊豆の特産品である  
(最近は不漁)

東伊豆町の稲取漁港の岸壁で、カジメと同じコンブ目の大型海藻であるアントクメが高密度に生育する様子を確認しました。アントクメはコンブ目の中では最も南に分布している海藻であり、伊豆西岸地域では古くから地域の特産品として、親しまれています。しかし、近年では不漁が続いており、やはりカジメ同様、海から著しくなくなっている海藻です。稲取漁港内ではアントクメが大型個体に成長するまで生育が維持されていたことで、海藻だけでなく、様々な生き物たちの生育も確認されました。

## なぜ漁港内で海藻の生育が維持されていたのか

白浜にて夏季と冬季に水温測定



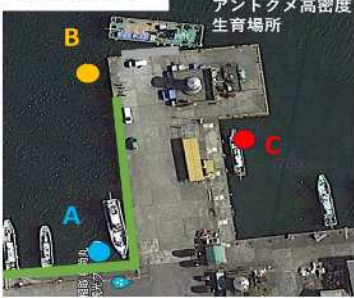
漁港内では漁港外よりも夏は水温が高く、秋と冬は低かった

冬に比較的低水温→海藻の生育維持

白浜漁港の外と中で水温を比較しました。左の図は冬季の1日の平均水温を、右の図は夏から秋にかけての1日の平均水温を比較した結果です。オレンジ色が漁港の外、水色が漁港の中を表しています。冬の測定期間では約1℃漁港の中の方が水温が低く、夏から秋にかけての測定期間では、10月まではやや漁港の外の方が水温が低く、10月以降は漁港の中の方が外よりも水温が低くなりました。これらの結果はおそらく、漁港の中の方が外気の影響を強く受けるため、夏に比較的高水温、冬に比較的低水温となったのだと考えられます。漁港内での冬の低水温がカジメの育成に好条件だったと考えています。

## 漁港内における光の減衰

稲取漁港



アントクメ高密度  
生育場所

白浜漁港



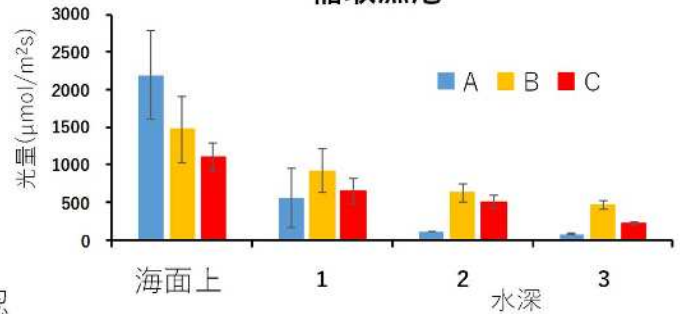
カジメ高密度  
生育場所

各水深  
での光量

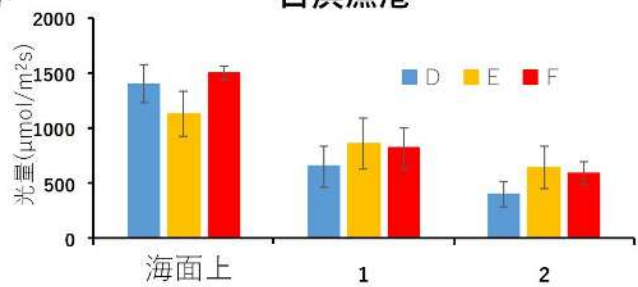


大型海藻が確認  
されたA,D地点が  
他地点よりも  
低い傾向に

稲取漁港



白浜漁港



白浜漁港と稲取漁港において漁港内における各地点の光環境を比較するため、光の減衰の大きさについて調べました。各測定地点とその周辺でのアントクメ、カジメの着生状況と測定した光量の結果を示しています。水深1~3mでの各水深での光量を比較すると、稲取漁港、白浜漁港ともに青で示したアントクメ、カジメが生育する場所での測定地点ではそうでない測定地点よりも水中での光量が比較的低いという結果になりました。

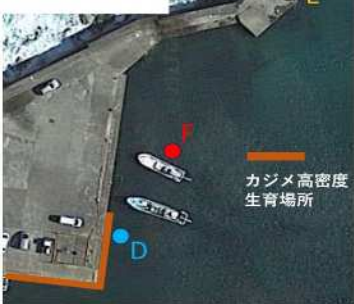
## 漁港内における光の減衰

稲取漁港



アントクメ高密度  
生育場所

白浜漁港

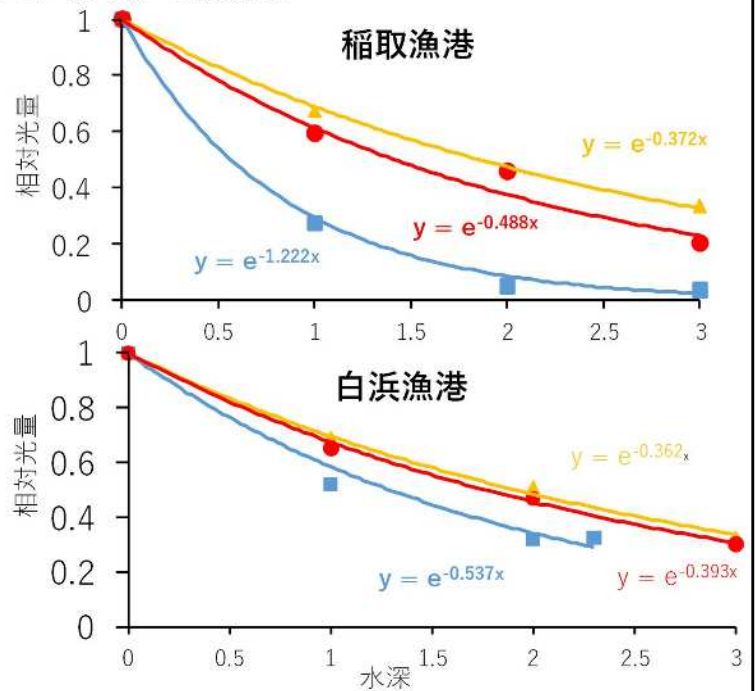


カジメ高密度  
生育場所

相対光量  
を算出し、  
光減衰を  
比較



大型海藻が  
確認された  
A,D地点が  
他地点より  
も減衰が大  
きい傾向に



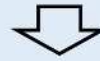
各水深での光量データの平均値を用いて相対光量を算出し、光減衰の式をあてはめた結果、アントクメ、カジメの生育地点では生育が確認されていない地点よりも光の減衰が大きいう結果になりました。

## なぜ漁港内で大型海藻の生育が維持されていたのか

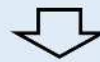


### 仮説

河川による陸水の流入と海からの暖水流入抑制



- ・ 冬期水温の低下
- ・ 栄養豊富な水が供給
- ・ 濁りの大きな場所では魚類による食害が抑制



大型海藻の持続的な成長

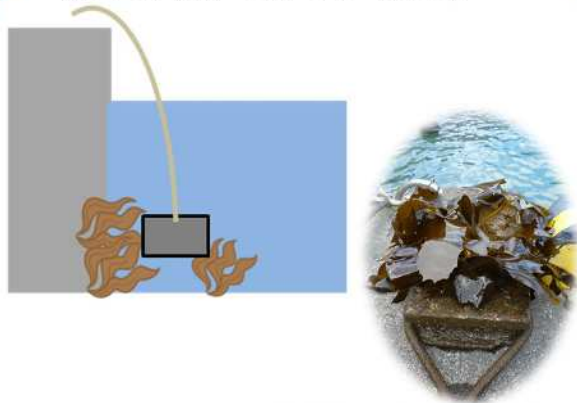
## 少し濁りがある場所の方が大型海藻の生育が維持されやすい？

光の減衰が大きい場所で大型海藻の生育が維持されていたことは、つまり漁港内で少し濁りがある場所の方が海藻の生育が維持される可能性があります。そのような場所では、海藻に必要な栄養塩が豊富である可能性や光合成を阻害するほどの強い光の影響が少ない可能性、濁りによって藻食性魚類に見つかりにくいなどの可能性があります。光の減衰と海藻の育成との関係は今後さらに調査していきます。



## 港の中の海藻の利用

### ブロックによる天然採苗 (伊豆山港のカジメ移殖)

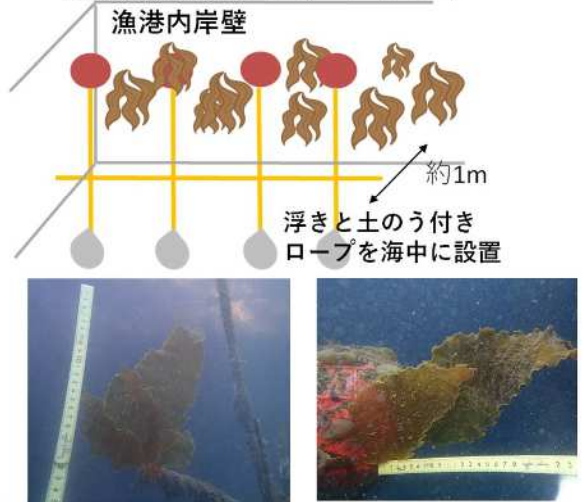


採苗されたカジメ

⇒ 磯焼け改善に活用

## ～天然採苗の取り組み～

### ロープ設置による天然採苗 (稲取漁港のアントクメ)



浮きと土のう付き  
ロープを海中に設置

↑ 採苗セットに着生したアントクメ

次に港内に生育する大型海藻の有効利用について紹介します。左の図は、ロープ付きの採苗ブロックを設置して、カジメの種苗を着生させる取り組みです。採苗した種苗は別の場所に移殖する予定です。右の図は採苗ロープセットにアントクメの幼体を着生させ採苗する試験です。

## 漁港内海藻の利用

～海藻育成の取り組み～

### アントクメ種苗生産



アントクメが  
遊走子を放出



水槽に投入

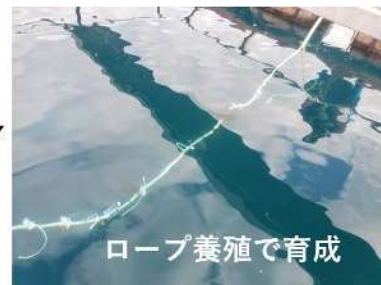


アントクメ  
幼体

### 西伊豆漁業関係者による養殖 (アントクメ養殖)



天然採苗で得た種苗を  
養殖ロープに挟み込み



ロープ養殖で育成



2023年春の養殖  
は食害により  
うまくいかなか  
った…

左の図はアントクメ母藻を採取して次世代の種である遊走子を放出させて水槽の壁面への着生を試みる種苗生産の取り組みです。右の図は西伊豆のアントクメ生産を復活させるため昨年度に天然採苗で採取した個体を西伊豆の漁業者に提供し、ロープ育成による養殖にチャレンジした事例です。この取り組みは食害により、アントクメを成長させることはできませんでした。今年度も引き続きこの行う予定です。

## 漁港内海藻の利用 ～餌海藻としての価値の追求～

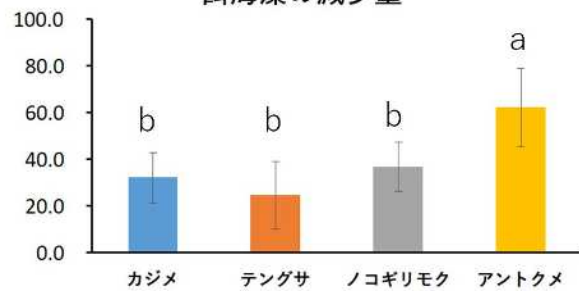
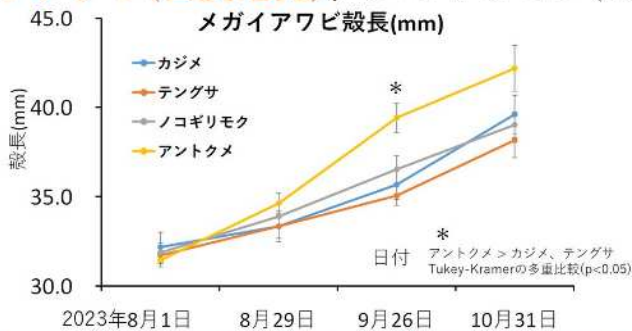
### メガイアワビでの摂餌性試験

メガイアワビの稚貝に各海藻を与え、  
水温20℃で飼育し、成長を比較

カジメ(白浜漁港内)、アントクメ(稲取漁港内)、  
テングサ(白浜地先)、ノコギリモク(白浜地先)



メガイアワビ稚貝  
餌海藻の減少量



稲取漁港のアントクメは餌海藻としての価値も高い! ?

アントクメはカジメに代わるアワビの餌としても着目しています。水温20℃で育成したメガイアワビの稚貝にカジメ、アントクメ、テングサ、ノコギリモクを与えたる飼育試験を行いました。その結果アントクメを与えたアワビが最も成長がよく、また、アントクメが他の海藻よりもよくアワビに食べられていました。このことから稲取漁港のアントクメはアワビの餌としての価値も高いのではないかと考えています。そのためアントクメを天然海域に移殖することで、磯焼け対策に活用できる可能性があると考えています。



今後の展望についてです。漁港内から採取した海藻を元に種苗生産を行い、移植活動を行う予定です。その際に、海藻着生状況調査や環境測定を継続し、海藻の移植候補地を選定します。また、藻食性魚類の飼育、観察を経て、移植海藻、移植手法を検討します。そして移植活動によって海藻群落の復活と痩せアワビ問題の解決を試みます。

## 行事予定表（令和6年1月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	月					
2	火					
3	水					
4	木					
5	金					
6	土					
7	日					
8	月					
9	火					
10	水					
11	木	防災講座 10:00-10:50 わかば保育園				
12	金					
13	土					
14	日					
15	月					
16	火					
17	水	地震対策オペレーション2024 (大規模図上訓練) 8:30～12:00 賀茂地域局	納税功労者表彰式 14:00～15:00 県庁本館			
18	木	防災講座 13:35-15:25 熱川中学校				
19	金	観光人材育成のための社会人講座 13:30～15:00 賀茂キャンパス				
20	土					
21	日					
22	月	防災講座 10:35-12:15 大賀茂小学校				
23	火					
24	水					
25	木	定例記者懇談会 9:30～ 賀茂キャンパス				
26	金	防災講座 9:30-10:30 仁科認定こども園				
27	土					
28	日					
29	月					
30	火					
31	水					

## 行事予定表（令和6年1月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	月					
2	火					
3	水					
4	木					
5	金					
6	土					
7	日					
8	月					
9	火					
10	水					
11	木					
12	金					
13	土					
14	日					
15	月					
16	火					
17	水					
18	木					
19	金					
20	土					
21	日					
22	月			消費者教育出前講座 10:35～12:25 下田中学校		
23	火			消費者教育出前講座 10:35～12:25 下田中学校		
24	水					
25	木					
26	金					
27	土					
28	日					
29	月					
30	火					
31	水					

## 賀茂地域における「まちじゅうアート」の推進

(賀茂地域局)

### 1 要旨

県が取り組んでいる「まちじゅうアート」のさらなる推進を賀茂地域内で図るため、賀茂地域局と管内6市町が連携した取組を検討していく。

令和5年度は、地域内における「まちじゅうアート」の認知度を向上させるため、管内市町の庁舎において、「まちじゅうアート」を活用してレンタルした作品を令和6年1月10日から展示する。

### 2 まちじゅうアートとは

- ・NPO法人アートコネクトしずおかが運営している県主催のプロジェクト。
- ・障害のある人が制作したアート作品を企業・店舗等に有償で貸し出し、レンタル料の一部を作者に還元することで、障害のある人の文化芸術活動への理解促進や障害のある人の社会参加、創作意欲の向上、経済的な自立を促進することを目的としている。

### 3 内容

期 間	令和6年1月10日（火）～3月27日（水）	
展示物	賀茂地域にゆかりのある人が制作した作品の複製画	
場 所	下田市	下田市役所市民保健課前（下田市東本郷1丁目5）
	東伊豆町	東伊豆町役場2階ロビー（東伊豆町稲取3354）
	河津町※	河津町役場1階正面玄関周辺及び保健福祉センター玄関周辺（河津町田中212-2）
	南伊豆町	南伊豆町役場1階正面玄関付近（南伊豆町下賀茂315-1）
	松崎町	松崎町農村環境改善センター（松崎町宮内303-6）
	西伊豆町	西伊豆町役場1階ラウンジ（西伊豆町仁科401-1）

※河津町は先行して町独自に2点の作品を展示中。

### 4 参考（先行して河津町に展示されている作品）



担 当：地域課 前田  
連絡先：0558-24-2202

令和5年12月22日

定例記者懇談会資料

賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第34回講座


(賀茂地域局)

(要旨)

「静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学と賀茂地域1市5町の相互連携に関する協定」に基づき、賀茂キャンパスにおいて、静岡県立大学による「観光人材育成のための社会人講座」の第34回講座を令和6年1月19日(金)に実施する。

※参加費は無料、毎月1回開講予定(単発の参加可)

(概要)

日時	第34回 令和6年1月19日(金) 13:30~15:00 ※毎月1回継続実施
会場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。 ※駐車場台数に限りがあるため、公共交通機関の利用・車の乗り合わせに協力願います。
内容	講師：静岡県立大学大学院 八木 健祥 経営情報イノベーション研究科 ツーリズム研究センター長 演題：「賀茂地域における持続可能な観光地経営を目指して」
対象	県民
参加費	無料
申込	 QRコードからの申込、もしくは、 静岡県立大学ツーリズム研究センターのメール：trc@u-shizuoka-ken.ac.jp、 又はFAX：054-264-5476に氏名、所属、電話番号を記入の上、お申込みください。 ※定員に達した場合は、参加をお断りすることがあります。
問合先	賀茂地域局地域課 電話：0558-24-2204 主催：静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科附属ツーリズム研究センター 共催：静岡県賀茂地域局

担当：地域課

連絡先：0558-24-2204



# 賀茂キャンパス 観光人材育成のための 社会人講座

主催：静岡県立大学ツーリズム研究センター  
協賛：静岡県賀茂キャンパス活用推進委員会

## 第34回

2024年 1月19日(金) 13:30～15:00

静岡県下田総合庁舎内賀茂キャンパス(下田市中531-1)

賀茂地域における持続可能な観光地経営を目指して

講師：八木 健祥

静岡県立大学経営情報学部教授

1981年4月 日本銀行入行

2008年6月 日本銀行静岡支店次長

2019年4月 静岡県立大学教授

2020年4月 静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科  
ツーリズム研究センター長

【専門分野】観光政策、交通経済論

【講話要旨】

アフターコロナの時代に入り、観光業がコロナ発生前の状況に回復し、さらに将来に向けて成長、発展を続けていくためには「持続可能な観光地経営」が求められています。そこには行政や観光事業者のみならず、他産業や地域住民も巻き込んだ「地域全体で基幹産業である観光業を支える」スキームの整備が必要となります。

賀茂地域1市5町を「ひとつの観光地」として捉えた場合には広域的な地域連携も踏み込んで検討していくことも課題です。賀茂地域が将来にわたり成長、繁栄していくための手がかりを解説していきたいと考えています。



働きながら学べる最新の観光情報。無料で参加できます。

静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科付属  
ツーリズム研究センター

メール、FAXもしくはQRコード  
からお申込みください。

Mail : [trc@u-shizuoka-ken.ac.jp](mailto:trc@u-shizuoka-ken.ac.jp)

FAX : 054-264-5476



## 地震対策オペレーション2024（大規模図上訓練）の実施について

（賀茂地域局）

### （目 的）

令和5年度総合防災訓練（本部運営訓練）を踏まえ、大規模地震が発生した場合を想定した本部運営訓練（図上訓練）を実施する。

県が実施する災害応急対策の習熟・検証を図るとともに、国、市町及び防災関係機関との連携を一層強化する。

### （概 要）

#### 1 訓練日時

令和6年1月17日（水） 午前8時30分～12時（県下一斉）

#### 2 訓練参加者（予 定）

静岡県、賀茂管内市町、陸上自衛隊、下田海上保安部、下田警察  
下田消防本部、沼津河川国道事務所、東京電力パワーグリッド(株)  
DMAT、(一社)下田建設業協会

#### 3 訓練会場

賀茂危機管理庁舎 1階	各班室（健康福祉班訓練）
〃 3階	賀茂方面本部室（本部運営訓練）
〃 4階	特別会議室（方面本部員会議運営訓練） 会議室（土木班訓練）

#### 4 図上訓練スケジュール

午前8時30分 訓練開始  
午前11時05分 第6回方面本部員会議（4階特別会議室）  
午前11時40分 賀茂方面本部長講評（12時訓練終了）

#### 5 訓練重点項目

- （1）「南海トラフ地震における静岡県広域受援計画」を踏まえた点検
- （2）情報の迅速かつ的確な収集及び伝達
- （3）総合防災訓練等を踏まえた課題への対応と検証

#### 6 訓練想定

- ・ 1月16日（火）午前8時30分頃、南海トラフ沿いで巨大地震が発生。
- ・ 地震発生から24時間経過した想定で訓練を実施する。
- ・ 建物倒壊や火災等の発生。大津波襲来により沿岸部で著しい被害。

#### 7 その他

- ・ 中止することが必要と判断される事象が生じた場合は訓練を中止します。
- ・ 訓練中の職員に対する取材は御遠慮願います。

担 当：危機管理課  
連絡先：0558-24-2004

## 防災講座の開催

(賀茂地域局)

## (目的)

賀茂地域局危機管理課では、防災における「自助・共助・公助」の基本を踏まえた地域防災力強化のため、自主防災組織、教育機関、ボランティア組織等、地域の防災を担う組織と連携して、防災講座や連絡会議等の開催、訓練・研修等を実施している。

## (概要)

実施日時	実施場所	実施対象	内容等
1月11日(木) 10:00~10:50	わかば保育園 (河津町)	全園児	防災ダック
1月18日(木) 13:35~15:25	熱川中学校 (東伊豆町)	全校	HUG
1月22日(月) 10:35~12:15	大賀茂小学校 (下田市)	全校	未定
1月26日(金) 9:30~10:30	仁科認定こども園 (西伊豆町)	4・5歳児	防災かるた

(計4回)

## (講座内容(抜粋))

## 【防災ダック】(幼稚園・保育園・小学校低学年)

表面に危険(身の回りの危険、災害)のイラスト、裏面にポーズをとっている動物のイラストが描かれたカードを使います。指導者がカードを出し、子どもたちが一斉にその危険から身を守るポーズをとります。ポーズと一緒に声を出したりもします。くり返し遊んでいるうちに、「最初の第一歩」が自然と身につくようになります。



## (お願い)

学校での防災講座を取材する際には、各学校まで取材を行う旨をご連絡くださいますようお願いいたします。

講座の内容については、変更になる場合があります。

講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担当：危機管理課 鈴木  
連絡先：0558-24-2004

## 令和5年度納税功労者の表彰について

(下田財務事務所)

静岡県では納税意識の高揚を図るため、本県の税務行政の推進について特に貢献し、その功績が顕著であると認められた者を表彰していますが、今年度は賀茂地区から、伊豆下田青色申告会の土屋善昭会長の受賞が決定しました。

### 記

1 表彰名 功労別表彰

2 受賞者 土屋 善昭（下田市）

3 表彰事由

平成7年4月より伊豆下田青色申告会において、28年以上の長きにわたり理事（令和4年5月より会長）として本県の税務行政の推進について多大なる貢献をされた。

4 表彰式

(1) 日 時 令和6年1月17日（水）午後2時～3時予定

(2) 場 所 静岡県庁本館4階特別会議室（静岡市葵区追手町9番6号）

(3) 受賞者 伊豆下田青色申告会会長 土屋善昭 他7財務事務所9名

※ 功労別表彰は、納税貯蓄組合、法人会、青色申告会等の団体の理事以上の役員を対象としています。

なお、平成14年度の制度改正後、功労別表彰の受賞は下田財務事務所管内（賀茂地区）では初となります。

担 当：管理課 深澤

連絡先：0558-24-2013

令和5年12月22日

定例記者懇談会資料

消費者教育出前講座の実施（下田中学校）

（賀茂広域消費生活センター）

（概要）

令和6年1月22日、23日に下田中学校において消費者教育出前講座を開催します。

（日時等）

日 時	対 象	参加予定人数
令和6年1月22日（月） 10:35～11:25	2年生1クラス	35名
令和6年1月22日（月） 11:35～12:25	2年生1クラス	35名
令和6年1月23日（火） 10:35～11:25	2年生1クラス	35名
令和6年1月23日（火） 11:35～12:25	2年生1クラス	34名

（計139名）

（内容）

- 中学生が知っておきたい消費生活の基礎知識
  - ・ 契約やお金の基礎知識
  - ・ 若者が狙われやすい悪質商法と予防策
  - ・ キャッシュレス決済やネットショッピングの注意点
  - ・ 消費生活センターの紹介 など

担当： 倉島  
連絡先： 0558-24-2206